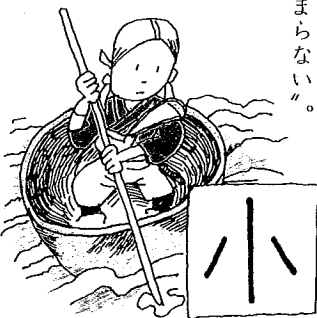


小

おん ショウ
ちいさい・こ
お

1年

3画
1 小 小



なりたち 古い字の形は、小さな点三つで表されているが、今の形から見れば一つの物(一)を分ける(八)ことを表した字と見た方がわかりやすい。意味の字。転じて、「幼い・つまらない」。

いまとじゆくこ

▼ちいさい。わずか。
▼小作：地主から土地を借りて農業をすること。
▼小心：気が小さくおくびょうなこと。
▼小異：少しばかりの違い。例 大同小異(細かい点だけ違うが大体同じであること)。
▼縮小：小さく縮めること。例 拡大。
▼おさない。わかい。
▼小児：幼い子供。例 小児科。
▼いやしい。つまらない。
▼小人：①心のいやしいつまらない人間。②身分の低い人。
▼自分のことをへりくだっていう言葉。
▼小生：男の人が自分をへりくだっていう言葉。
▼よみかた 小川・小麦・小説
▼さんこう 特別なよみかた↓
小豆・小雨

小

少

少

おん ショウ
すくない・す
こし

2年

4画
1 小 小 少



なりたち 古い字では小さな点四つで表されているが、小さな物からさらに取り去ることを表した指事字だと見た方がわかりやすい。

いまとじゆくこ

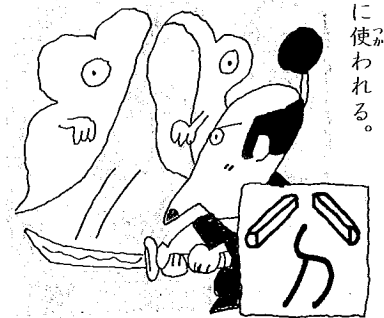
▼すくない。わずか。
▼少額：少ない金額のお金。わずかなお金。例 多額。
▼少少：すこし。すこしばかり。わずか。
▼希少：少なく、珍しいほどであること。例 希少価値(それが世間にまれであることから生ずるねうち)。
▼おさない。わかい。
▼少年：①年の若い男子。若者。②成年に達しない男子。
▼すくなくなる。へらす。
▼減少：へってすくなくなること。へらすこと。例 増加。
▼身分が低い方の役。例 少尉・少佐。
▼よみかた 少食・少数・少壮・少量・僅少・軽少・幼少
▼さんこう 「小」の反対は大で、「少」の反対は多となる。

分

おん ブン・フン
わける・わか
れる・わかる
わかっ

2年

4画
1 分 分 分



なりたち 二つに分ける意味の八と刀との会意字。刀で物を二つに切りわけけることを表した字。「わかる・わかっ」意味から「わかる」意味、また、「わかる(理解する)」意味に使われる。

いまとじゆくこ

▼わける。わかる。わかれたもの。
▼分裂：一つのが、いくつかに分かれること。例 細胞分裂。
▼分家：家族の一員が分かれて別の一戸を構えること。また、その分かれた家。
▼わかる。みわけける。
▼分別：道理をわきまえること。また、その能力。
▼分けあたえられたもの。
▼天分：天から与えられた性質や才能。例 すぐれた天分。
▼本分：本来つくすべき役割・つとめ。例 学生の本分。
▼そうある状態・関係。
▼兄弟分：兄弟の約束をした親しい間柄の男同士。
▼よみかた 分化・分解・分割・分業・分権・分際・分散・分析・分担・分配・分野・分離

粉

おん フン
こな
こな

4年

10画
1 粉 粉 粉 粉



なりたち 米と分との会意形声字。「米を細かく分ける」という意味の字で、米を細かくすりつぶした「米のこな」を表した字。転じて、「広くこな」状のものをすべて粉という。

いまとじゆくこ

▼こな。「末」も細かく砕いたものの意味。
▼花粉：花のおしべにある粉末状の細胞。めしべについて実を結ばせる。
▼粉乳：水分を蒸発させて粉状にした牛乳。例 脱脂粉乳。
▼細かに砕く。
▼粉砕：①こなこなに砕くこと。例 岩石の粉砕作業。②相手をすつかり打ち負かすこと。例 敵を粉砕する。
▼脂粉：べにとおしろい。転じて、化粧。例 脂粉をこらす。
▼うわべを飾る。
▼粉飾：りっぱに見せようとして表面をとりつくりうこと。

分

粉